施工説明書

INAX

洋風サイホン防露便器

(床排水)

防露便器　BC-120SU　BC-120SU75(100)
ヒーター防露便器 HBC-120SU HBC-120SU75(100)

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意
- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。
- お客さまに必ず本書と取扱説明書や保証書（ヒーター付便器の場合）をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

安全のために守ってください！

便器を安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
便器の取付前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

警告 ・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 ・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠警告

水につけたり、水をかけないでください。
※ショート・感電の恐れがあります。
(100V電源使用の場合)

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、異常作動してケガをすることがあります。（100V電源使用の場合）

⚠注意

陶器は割れものです。
- 施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。
- 施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。

※破損部でケガをしたり、漏水により家財等をぬらす恐れがあります。

バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では、使用しないでください。
※火災・感電の原因となります。
(100V電源使用の場合)

交流100V以外では使用しないでください。
※火災・感電の原因となります。
(100V電源使用の場合)

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。(100V電源使用の場合)

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
※感電・ショート・発火の原因となります。
(100V電源使用の場合)

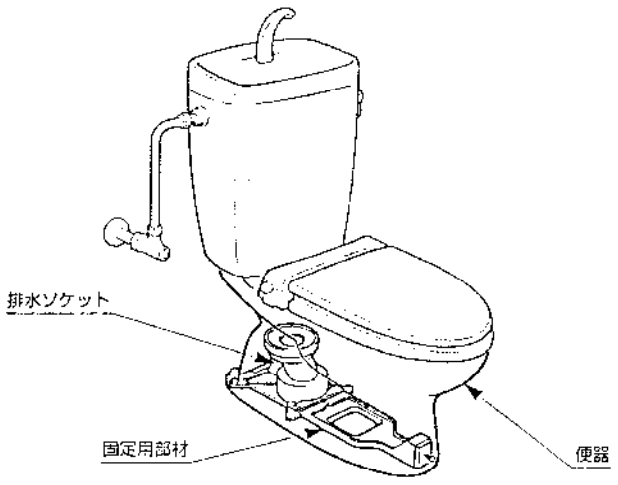
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
※感電やショートして発火することがあります。
(100V電源使用の場合)

止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。
※漏水により家財等をぬらす恐れがあります。

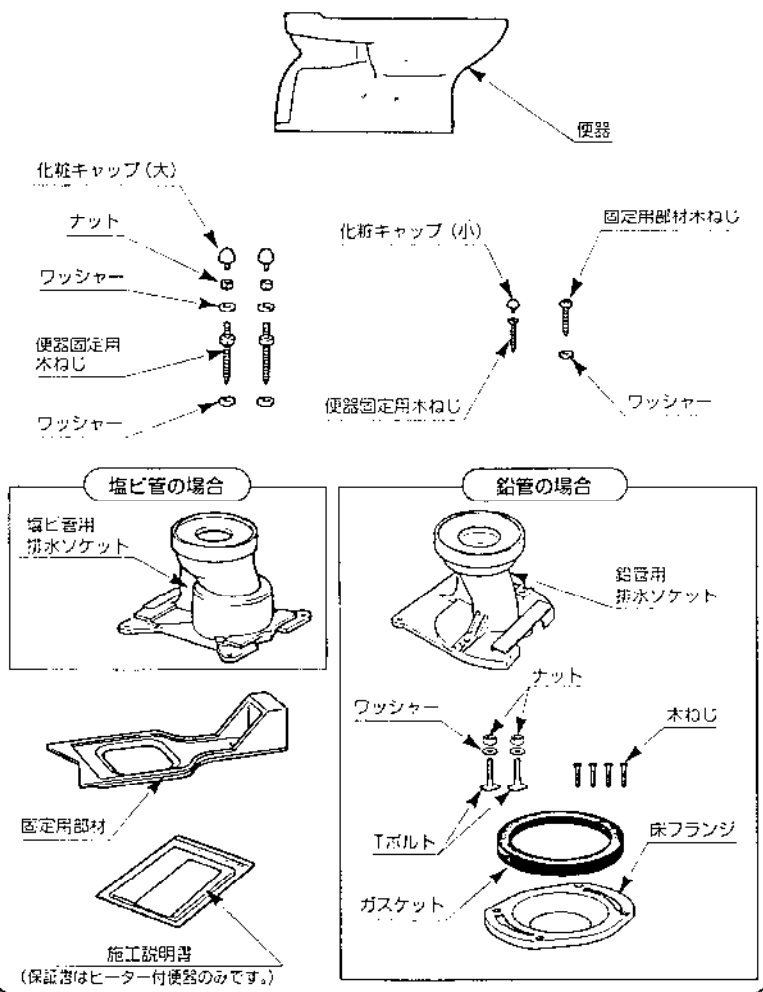
施工前の注意

- 便器、ロータンクの順序で施工を行ってください。また、施工方法は各施工説明書を参照してください。
- 排水管が塩ビ管の場合、標準の排水芯（後壁から200mm）以外にも120、130、210mmに対応できますが、排水芯によって排水ソケットの設置方向が異なります。
- 排水管が鉛管の場合、排水芯は200、210mmのみに対応し、排水ソケットの設置方向は変わりません。

各部の名称



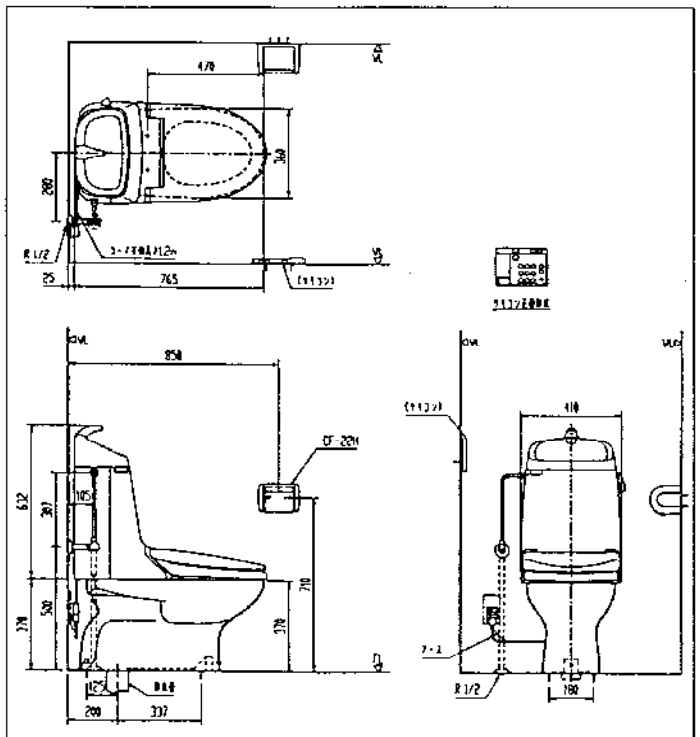
部品の確認（梱包内容を確認してください。）



施工完了図

シャワートイレタイプ

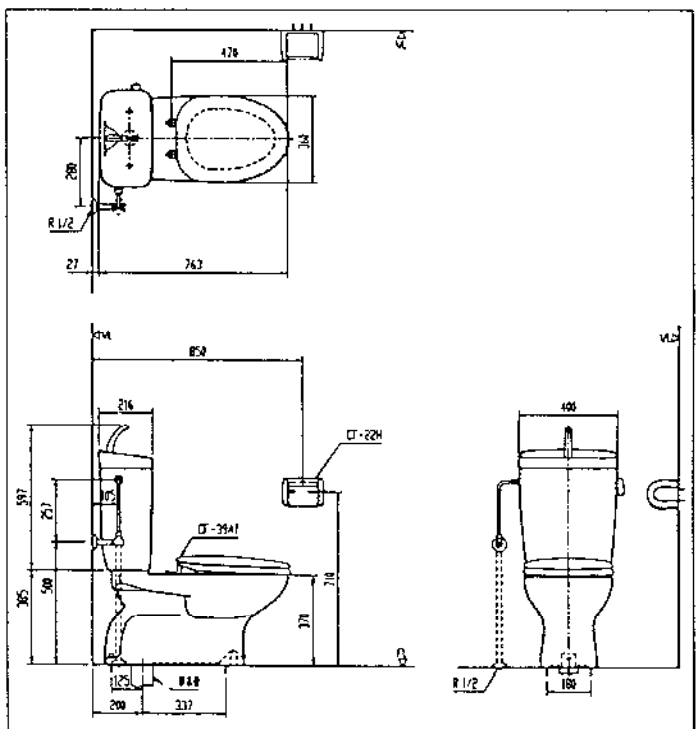
(BC-120SU、DT-2824の場合)



※床給水の場合、給水管は破線表示となります。
※紙巻器（CF-22H）は別途手配してください。

一般便器タイプ

(BC-120SU、DT-2820の場合)



※床給水の場合、給水管は破線表示となります。
※紙巻器（CF-22H）は別途手配してください。

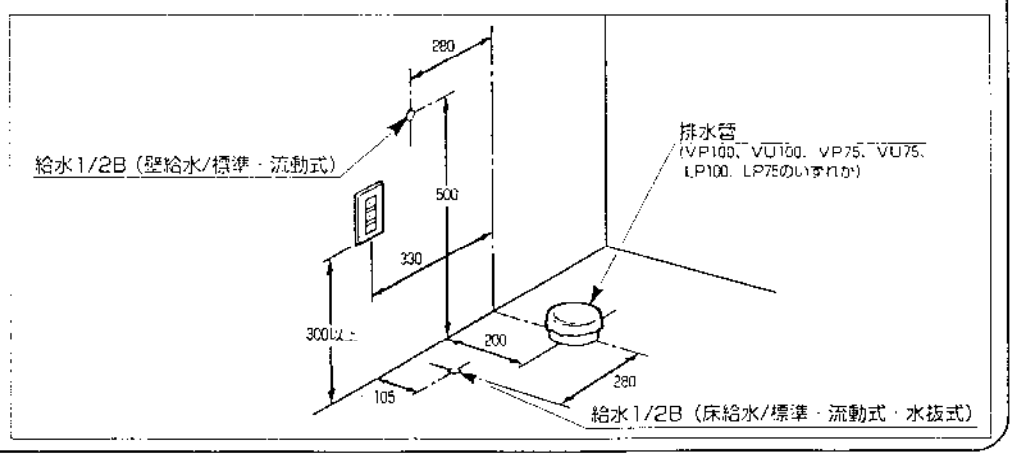
施工方法

1 給排水の位置決めと取出し

給水管、排水管を取り出します。

注意1 参照

参考1 参照



注意1
便器を取り付けるまで、異物が混入しないように給水管にはプラグ（LF-7Tを推奨）、排水管にはビニール袋等でカバーをしてください。

参考1
リフォーム等の場合、塩ビ管では標準の排水芯200mmの他に120,130,210mmの排水芯にも対応できます。（鉛管の場合は200,210mmのみ対応）
これらの排水芯を持つ、主要な便器は次の通りです。

- INAX
  - 120mm カスカディーナ
  - 200mm アメージュシリーズ
- TOTO
  - 130mm CS760
  - 200mm New CSシリーズ
  - 210mm C725B, C713BH

株式会社INAX

本　　社 〒0569-35-2700
横浜支社 〒045-242-1710
甲信支社 〒0263-36-2166
京滋支社 〒075-222-1794
札幌支社 〒011-271-1701
千葉支社 〒043-227-8171
名古屋支社 〒052-201-1717
広島支社 〒082-223-1710
東北支社 〒022-301-1701
埼玉支社 〒048-668-1177
静岡支社 〒054-251-1710
四国支社 〒087-821-1701
東京支社 〒03-5541-7111
東関東支社 〒028-637-3379
北陸支社 〒0762-64-1710
福岡支社 〒092-282-3151
西東京支社 〒0425-27-334
関越支社 〒0273-27-179
大阪支社 〒 06-539-350
南九州支社 〒096-322-179

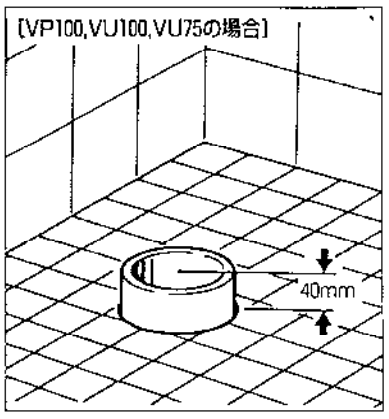
《塩ビ管の場合》

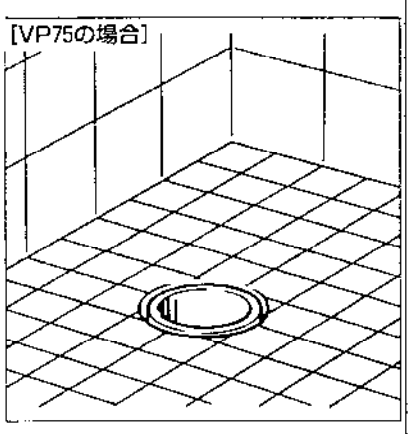
2 排水塩ビ管の切断

排水塩ビ管を床と平行に切断します。

VP100,VU100,VU75の場合：床仕上げ面より高さ40mm
VP75の場合：床仕上げ面

注意2 参照　参考2 参照



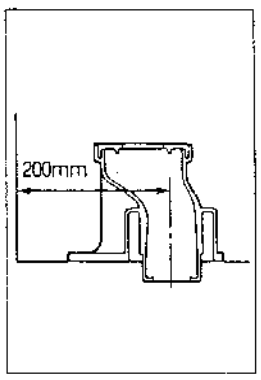


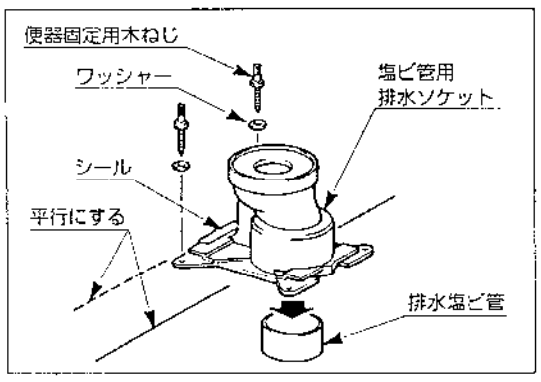
3 塩ビ管用排水ソケットの取付け

(1)排水塩ビ管と排水ソケットの密着部をきれいにし、両方に塩ビ管用接着剤を塗って接着します。
排水芯の寸法によって排水ソケットの向きが異なります。図を参照してください。

注意3 参照　注意4 参照　参考3 参照

(2)便器固定用木ねじで排水ソケットを床に固定します。
床がタイルまたはコンクリートの場合、下穴（径11、深さ55）をあけ、別売のAYボルト(AY-86D)を使用します。

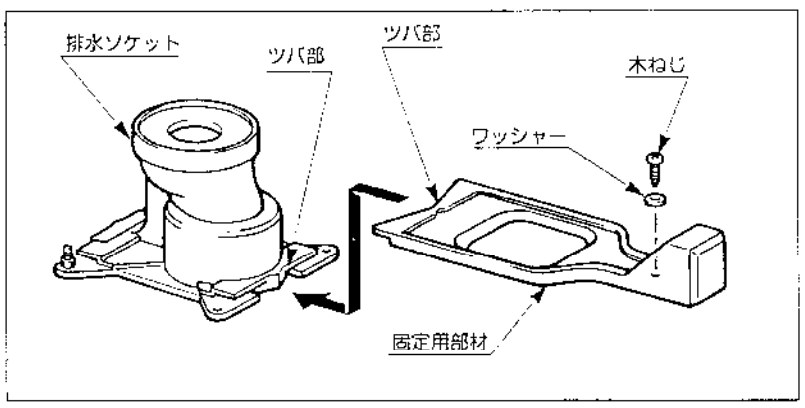




4 固定用部材の取付け

(1)排水ソケットのツバ部に固定用部材のツバ部を合わせ、固定用部材の位置決めをします。

(2)固定用部材を木ねじで固定します。
床がタイルまたはコンクリートの場合、下穴（径11、深さ55）をあけ、別売のAYボルト(AY-23W)を使用します。

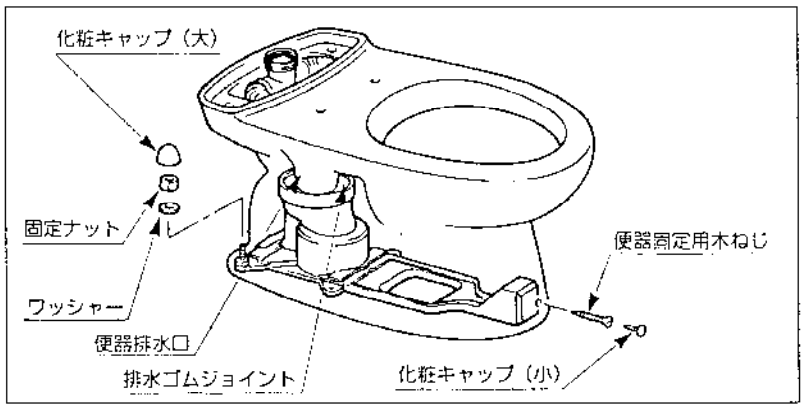


5 便器の取付け

(1)便器の排水口を排水ソケットの排水ゴムジョイントに差し込み、固定ナットにて便器を固定し、化粧キャップ（大）を取り付けます。

(2)便器前方から便器固定用木ねじにより完全固定し、化粧キャップ（小）を取り付けます。

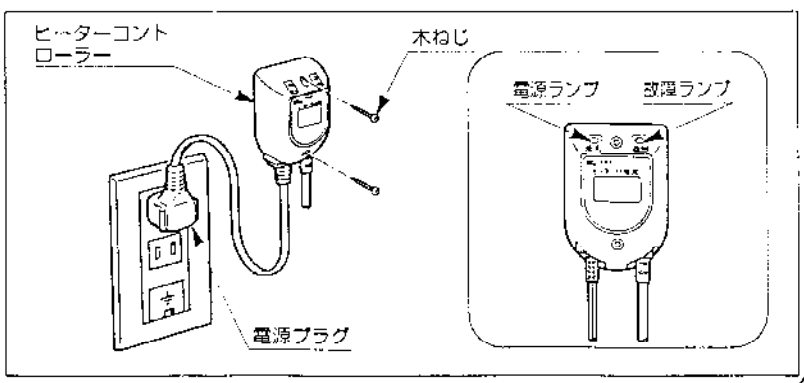
注意9 参照



6 ヒーターコントローラーの取付け（ヒーター付便器の場合）

(1)電源コードの長さを考慮してヒーターコントローラーの取付位置を決め、木ねじにて固定します。

(2)電源プラグをコンセント（交流100V）に差し込み、電源ランプが点灯(オレンジ色)、故障ランプ(赤色)が消灯していることを確認します。



《鉛管の場合》

2 排水鉛管の切断と床フランジの取付け

(1)排水鉛管を床と平行に切断します。

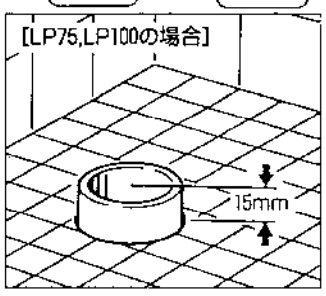
LP75,LP100の場合：床仕上げ面より高さ15mm 注意2 参照

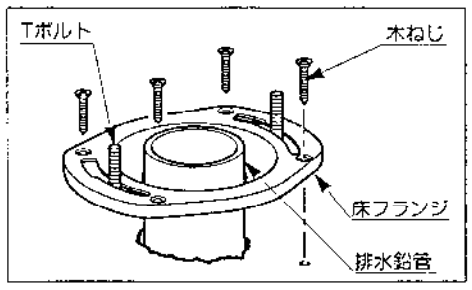
(2)床フランジのテーパー部が床の中に入るように排水鉛管周囲をはつります。

(3)床フランジにTボルトを組み込み、木ねじで床面に固定します。
床がタイルまたはコンクリートの場合、下穴（径7.5、深さ55）をあけ、別売のAYボルト（AY-2）を使用します。

(4)排水鉛管の切口を床フランジのテーパー面に沿って広げ、はんだ付けします。
はんだ付けを省略する場合は、切口を床フランジ上面に広げます。

注意5 参照　注意6 参照





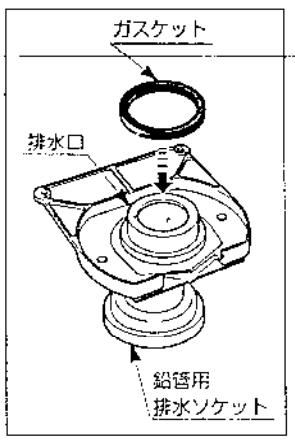
3 鉛管用排水ソケットの取付け

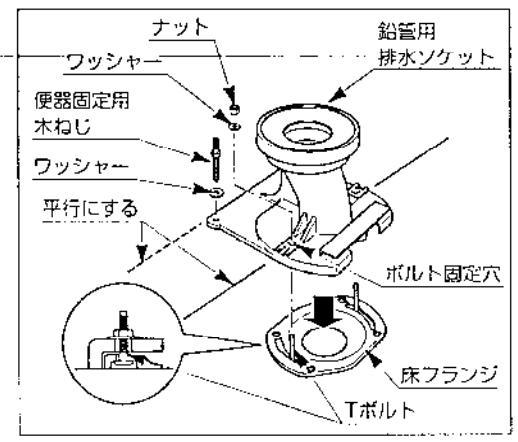
(1)排水ソケットの排水口にガスケットを取り付けます。 注意4 参照

(2)Tボルトを排水ソケットのボルト固定穴に挿入します。

(3)ナットにて床フランジに排水ソケットを取り付けます。 注意7 参照

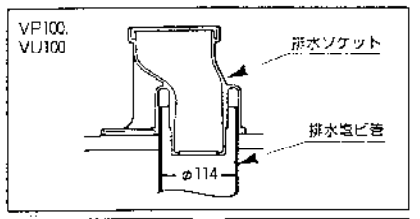
(4)便器固定用木ねじで排水ソケットを床に固定します。
床がタイルまたはコンクリートの場合、下穴（径11、深さ55）をあけ、別売のAYボルト(AY-86D)を使用します。 注意8 参照

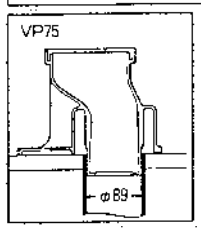


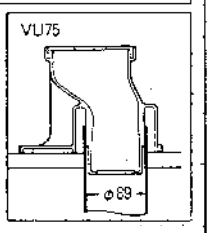


注意2
切断面は、床と平行になるように切断してください。
※ 切断位置が正確でないと漏水、臭気発生の原因になります。

参考2
排水塩ビ管と排水ソケットの接続は、以下のようになります。

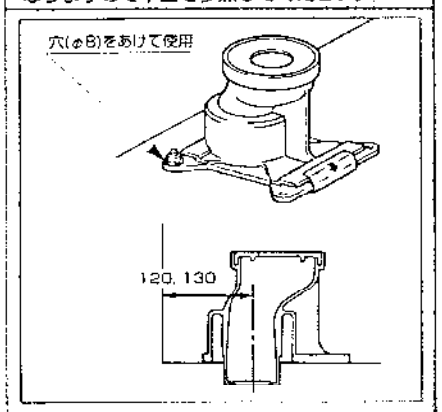






注意3
排水塩ビ管と排水ソケットの接着は、確実に行ってください。
※ 接着が不十分ですと漏水、臭気発生の原因になります。

参考3
排水芯210mmの場合は、200mmの場合と同じ施工方法です。
120,130mmの場合は排水ソケットの向きが異なりますので下図を参照してください。



注意4
排水ソケットのオリフィス部は切断しないでください。
※オリフィス部を切断すると、機能不良の原因になります。

注意5
床フランジの取付けは、必ず仕上げ面上で行ってください。

注意6
床フランジのテーパー面に沿って排水鉛管を確実に拡げてください。
※拡げ方が不十分ですと、排水鉛管と排水ソケットが干渉する恐れがあります。

注意7
●排水口周囲の汚れ、湿気を十分に取り除いてください。
● ガスケットは、排水ソケットの底面および排水口側面にしっかり密着させてください。

注意8
床と排水ソケットのすき間がないようにナットを締め付け接着を行ってください。
※接着が不十分ですと漏水、臭気発生の原因になります。

注意9
陶器に対するねじは締めすぎないようにしてください。
※陶器が割れる恐れがあります。